



令和3年1月29日
一般財団法人 地域創造

令和2年度地域創造大賞（総務大臣賞）受賞施設の決定について

（一財）地域創造では、令和2年度地域創造大賞（総務大臣賞）の受賞施設を以下の6施設に決定しました。

1 受賞施設

- | | |
|--------------------------------------|------------|
| ○名取市文化会館 | 【宮城県名取市】 |
| ○山梨県立県民文化ホール(YCC県民文化ホール) | 【山梨県】 |
| ○知立市文化会館（パティオ池鯉鮒） | 【愛知県知立市】 |
| ○河内長野市立文化会館（ラブリーホール） | 【大阪府河内長野市】 |
| ○新居浜市美術館及び新居浜市総合文化施設
（あかがねミュージアム） | 【愛媛県新居浜市】 |
| ○徳之島町文化会館 | 【鹿児島県徳之島町】 |

※ 今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、表彰式は開催いたしません。

2 地域創造大賞（総務大臣賞）について

- この賞は、地域における創造的で文化的な表現活動のための環境づくりに特に功績のあった公立文化施設を顕彰し、全国に広く紹介することにより、公立文化施設のさらなる活性化を図り、美しく心豊かなふるさとづくりの推進に寄与することを目的として、平成16年度に創設されたもので、今年度が17回目の表彰です。
- 受賞施設は、全国の地方公共団体から応募があった施設について、以下の基準を設け、専門家で構成する地域創造大賞審査委員会（委員長：田村孝子氏／文化ジャーナリスト）において審査を行い、その結果を受けて決定しました。

3 審査基準

- (1)地方公共団体等が、文化・芸術による地域振興やふるさとづくりという地域を豊かにするための行政の目的に沿った芸術文化振興ビジョンや公立文化施設の理念、使命を持ち、それを達成するための施設運営がなされているかどうか
- (2)先進性、テーマ性を有する自主企画作品の制作、公演や自主企画展覧会の開催等創造的な活動に取り組むとともに、内外の優れた作品の鑑賞機会の提供に意欲的に取り組んでいるか
- (3)地域住民の文化・芸術活動の育成支援、教育普及活動、住民参加・参画など地域住民との協働(コラボレーション)に意欲的に取り組んでいるか

など

地域創造大賞(総務大臣賞)審査委員

役職	氏名	所属等
委員長	田村 孝子	文化ジャーナリスト、公益社団法人全国公立文化施設協会副会長
委員長代理	吉本 光宏	株式会社 ニッセイ基礎研究所 研究理事 (社会研究部芸術文化プロジェクト室長兼務)
委員	熊倉 純子	東京芸術大学大学院国際芸術創造研究科長 教授
委員	小林 真理	東京大学大学院人文社会系研究科 教授
委員	坪池 栄子	株式会社 文化科学研究所 編集プロデューサー
委員	仲道 郁代	ピアニスト
委員	柳沢 秀行	公益財団法人大原美術館 学芸課長
委員	山本 信一郎	一般財団法人地域創造 理事長

問合せ先
一般財団法人 地域創造
総務部 柴田、三田
TEL : 03-5573-4184

—受賞施設紹介—

名取市文化会館【宮城県名取市】



◎ 文化による“心の復興”に尽力

長年にわたり子どもたちへの音楽アウトリーチ事業に力を入れ、東日本大震災の被災下でも支援演奏を展開。以来、市内全小学4年生へのアウトリーチに加え、仙台フィルハーモニー管弦楽団と協働した「Art for Kids@なとり わくわく楽しい音楽会」、仙台高等専門学校と協働した親子向け全館イベントなど、文化による心の復興に尽力した。

運営：公益財団法人名取市文化振興財団

開館：1997年

山梨県立県民文化ホール(YCC 県民文化ホール)【山梨県】



◎ “県民に開かれた運営”により文化力を向上

“誰もが文化に触れられる、関われる施設”を理念に、地元人材を発掘したオリジナル創作舞台、やまなしジュニアオーケストラ、多彩なワークショップを行う「あなたの文化を見つけよう!」、約60団体がステージに立つ「フェスタ県文」などを展開。地元の大学や高校とも連携するなど、県民に開かれた運営により文化力の向上に貢献した。

運営：アドブレーション・共立・NTTファシリティーズ共同事業体

開館：1982年

知立市文化会館（パティオ池鯉鮒）【愛知県知立市】



◎ 地域の文化拠点として“伝統文化の支援”を推進

江戸時代から伝わる知立の山車文楽とからくりの保存継承を支援。町の人形連や、その垣根を越えた市民文楽団「ちりふ座」の拠点として、道具の保管、大阪文楽座の人形遣いによる指導、ホール公演、創作舞台などを展開。また、市内全小学校への音楽アウトリーチに力を入れるなど、地域の文化拠点として尽力した。

運営：一般財団法人ちりゅう芸術創造協会

開館：2000年

河内長野市立文化会館（ラプリーホール）【大阪府河内長野市】



◎ “まちの文化広場”としてクリエイションに新境地

都市近郊型ホールとして市民とともにオペラや音楽祭などの独自事業に取り組むとともに、2007年から多彩な教室事業を展開。そこで育まれたアーティストとの繋がりをベースに創意溢れるオリジナル舞台「奥河内音絵巻」をプロデュースし、まちの文化広場として新たなクリエイションに挑戦した。

運営：公益財団法人河内長野市文化振興財団

開館：1992年

新居浜市美術館及び新居浜市総合文化施設（あかがねミュージアム）【愛媛県新居浜市】



◎ “ジャンルを超えた文化交流” によるコミュニティづくりを推進

新居浜駅周辺の賑わい創出と「新しい新居浜の創造」を掲げるシンボル施設。美術を中心に地域の歴史、産業、環境などに跨がる幅広い文化事業を展開。市民とつくるラジオ局「新居浜 FM78.0」と連携した情報発信、「にいほま SDGs アート・フェスティバル」など、新たな文化交流によるコミュニティづくりを推進した。

運営：新居浜市・あかがねミュージアム運営グループ

開館：2015年

徳之島町文化会館【鹿児島県徳之島町】



◎ 文化交流による“心豊かな暮らし” に貢献

人口1万人の徳之島町の文化交流拠点。子どもたちの文化体験に力を入れ、小中高の吹奏楽部を応援する「子ども音楽フェスティバル」や「子ども文化祭」、保育園へのアウトリーチなどを展開。講座「島学」や5年に1度の島民劇により人材の育成を図るなど、文化交流による心豊かな暮らしに貢献した。

運営：楽しむ人の館

開館：1994年